

松戸市・柏市政令指定都市研究会 第2回研究会について（議事メモ）

日 時 : 平成20年11月27日（木）10時～11時

場 所 : 松戸市役所 議会棟2階 第3委員会室

◆ワーキンググループ活動報告

開催日	名称	主な検討内容
平成20年8月4日	第1回ワーキンググループ会議	調査の進め方、都市機能分析
平成20年9月1日	第2回ワーキンググループ会議	2市の現状と課題、財政推計
平成20年10月7日	第3回ワーキンググループ会議	将来財政推計、政策課題
平成20年11月12日	第4回ワーキンググループ会議	将来財政推計、将来都市像

◆第2回研究会資料に沿って説明

◆2市委員からの意見

- ・ 既存政令市との中枢都市機能比較だけでなく、道州制導入を踏まえた上で、これから求められる政令市として2市の場合はどうか、といった点について考えても良いのではないかと。
- ・ 市民としては安心して住むことができるまちを望んでおり、政令市になることで河川整備が促進される、安全・防災機能が向上するといった、市民生活の何が変わるかに関心がある。今後の調査では、財政推計だけでなく、都市基盤整備に係る事務移譲によって県道の整備が促進されるなど、2市で政令市となった場合の生活基盤がどのように変わるか、検討してほしい。
- ・ 2市現状の公共施設整備状況において、ごみ処理施設の処理能力がどのくらいあって、今後求められるものを施設面から見ると何が予想されるといったことを、実態と課題で整理できると後の章にもつながる。
- ・ 調査研究の目的に、市民の判断材料となる資料作成とあるように、行政側だけでなく、市民が読んで分かりやすい内容を目指してほしい。また、最終報告に向けては2市でどのようなまちを目指すか、将来都市像を考えてほしい。

◆最終報告に向けて

- ・ 今後予定される4章以降の将来財政推計、将来都市像については、今回の委員からの意見をどのように報告書に反映させるか検討し、3月の最終報告に向けて作業を行う。

◆千葉県（オブザーバー）からの意見

- ・ この地域は、資料（P26～27）にもあるように、今後、高齢化の進展と生産年齢人口の減少が予想されている。研究に際しては、そうした危機感の上に立って、人口の流入が見込めるような展望が描けるよう、また、住民がそうしたイメージが持てるよう留意してほしい。

以上